

地域特定課題提案に対する現状

○提案の内容

提案委員	山田 準二
課題名	今後の団体育成について
提案理由	地域の社会活動を支えてきた「老人クラブ」「婦人会」「青年団」の活動が、現在はほとんど見えない。地域社会を支えるためには、必要な組織であり、これから組織をどうしていくか検討したい。
課題の内容	○各団体の現状 ○組織再建策の検討

○現状等

状 況	国府町青年団 団長に確認したところ、現在団員は5名。イベント(こくふまつり、傘踊りの祭典、盲学校との交流、人権集会の司会、殿ダムビジョンの役員)が主な活動。ここ1年半くらいは、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から各イベントが中止となっており、活動もなく集まっていないが、今年は様子を見ながら再開できるように考えている。
各地域の現状	<ul style="list-style-type: none"> ・福部町・・・以前はあったが、現在、実態はない。再構築の構想もない。 ・河原町・・・青年団専用の部屋はあるが、活動は何もしていない。継承者もなく、自然解散となりそうだと話している。 ・用瀬町・・・合併数年後には、組織としての活動はなくなり、現在も全くない。今後も難しいと考えている。 ・佐治町・・・5～6年位前は組織としてあり、クリスマスの時期にはサンタクロースに扮して登場したり、活動をしていたが、 コロナウィルスの感染拡大の観点から、活動に制限がかかり、現在は活動していない。 人口も減りつつあること、世代間のずれがあることなどから再構築は考えられない。 ・気高町・・・西商工会青年団ならあるが、気高町としての青年団はない。 ・鹿野町・・・青年団はない。現在も活動していない。今後も考えていない。 ・青谷町・・・20年程前まではあったが、何十年も活動していない。